

令和6年度 第4回 消費生活eモニターアンケート集計

1 調査趣旨

◎消費生活とごみの減量・リサイクルについて

川崎市では、平成25年9月からプラスチック製容器包装の分別収集の全市拡大と普通ごみの収集回数を週2回に変更した結果、市の人口が150万人を突破した状況の中においても、平成29、30年度、令和元年度と3年連続で、1人1日あたりのごみ排出量が、政令市最少となりました。しかし、令和2年度及び令和3年度はともに微増となりました。

改めて地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざして、エコ暮らしを実践し、さらに3R（アンケート設問5参照）を推進することが求められています。

そこで、今回は、川崎市のごみの減量・リサイクルの取組を知っていただくとともに、ごみに関する消費者の実態と意識を調査し、今後の行政の参考資料とするためにアンケートを実施いたします。

◎地球温暖化対策について

川崎市では、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、市民・事業者・行政が一丸となって取組を加速していくために、脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定し、二酸化炭素（CO₂）の削減や地球温暖化防止の取組を進めています。

今回は、脱炭素社会の実現に向けて、温暖化等に関する意識や環境配慮行動の取組を調査し、今後の施策の参考とするため、アンケート調査を実施いたします。

- | | |
|--------|---|
| 2 調査事項 | 「1. 消費生活とごみの減量・リサイクルについて」
「2. 地球温暖化対策について」 |
| 3 調査対象 | 令和5年度消費生活eモニター 45名
(1. 回答者数39名・回収率87%、
2. 回答者数38名・回収率84%) |
| 4 調査方法 | 市ホームページの回答フォームによる |

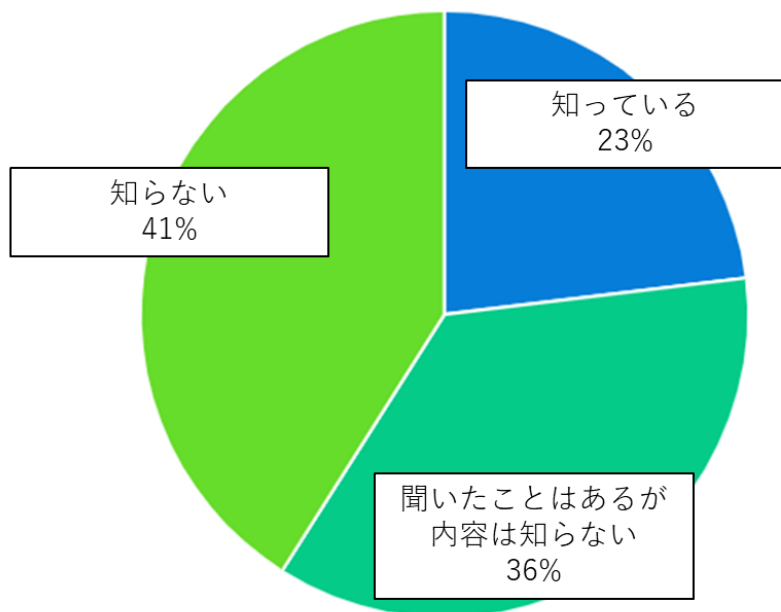
- 集計結果について、四捨五入の結果や複数回答の集計によるため、合計が100%とならない場合があります。
- 調査結果中の「回答者数」は「調査対象者」から「未提出者」を除いた数としました。
- 自由回答、その他意見は一部抜粋。



1. 消費生活とごみの減量・リサイクルについて

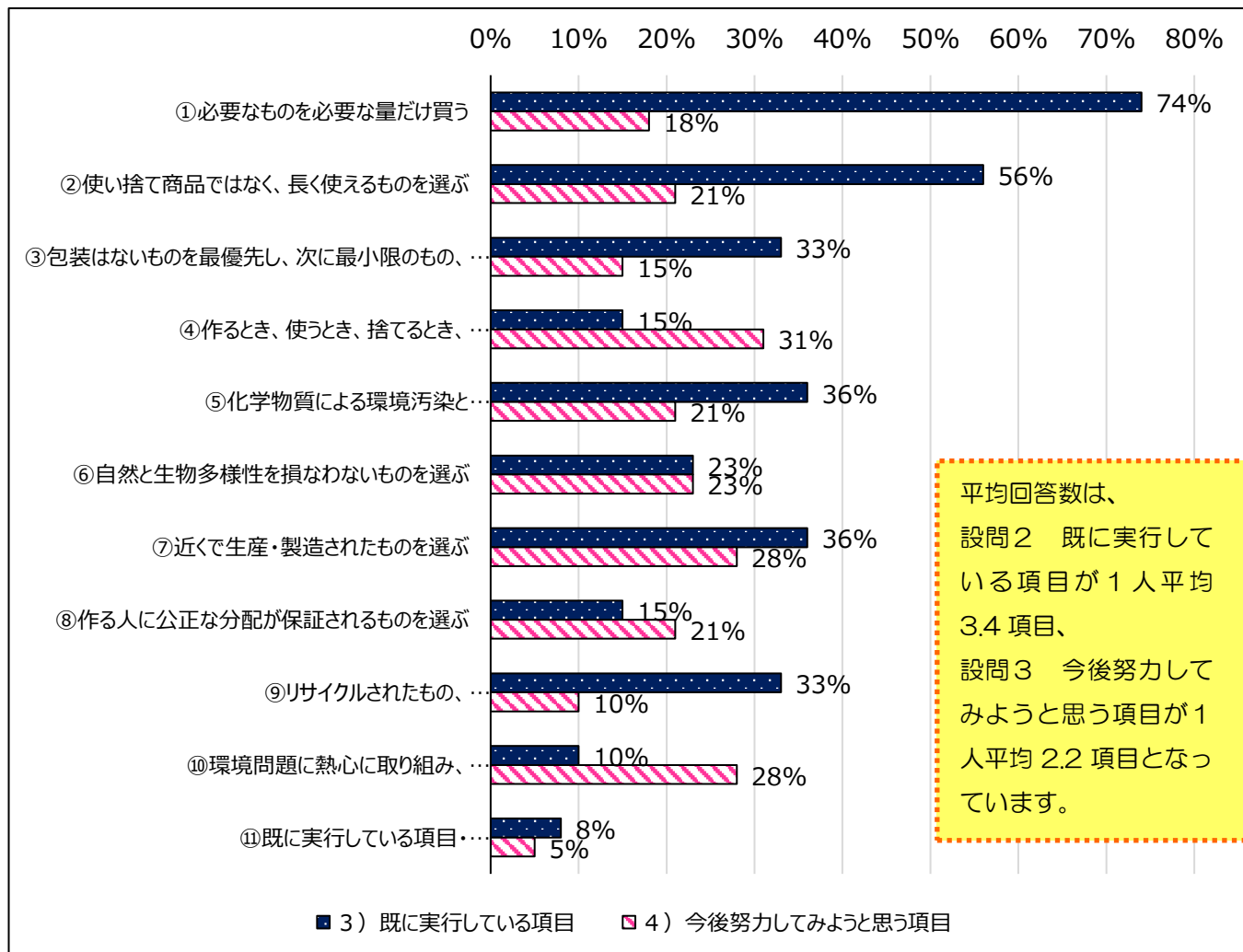
《グリーンコンシューマーとその行動について》

設問1 グリーンコンシューマーを御存知でしたか。

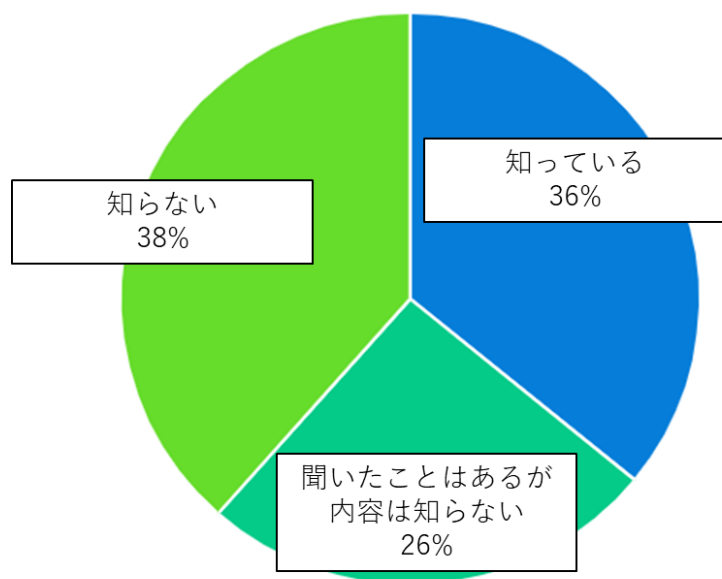


“グリーンコンシューマー”とは、環境に配慮した行動をする消費者のことです。

設問2、3 次のグリーンコンシューマー10原則（グリーンコンシューマー全国ネットワーク著「グリーンコンシューマーになる買い物ガイド」より）の中で、『既に実行している項目』『今は実行していないが、今後努力してみようと思う項目』があれば、お選びください。（複数回答可）

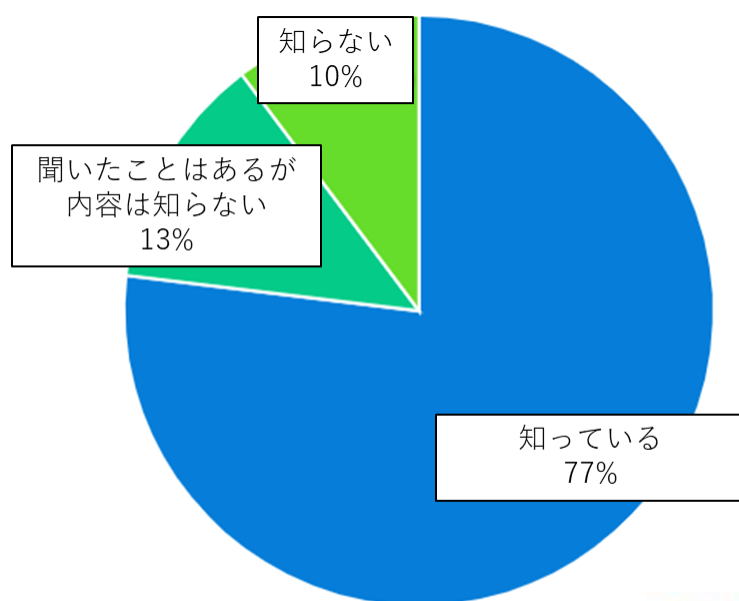


設問4 “エコ暮らし”という言葉を知っていましたか。



“エコ暮らし”とは、ごみの発生抑制に資する生活や活動、節電などの省エネ行動、庭や花壇の緑化の推進など、日々の暮らしの中で、環境に配慮した行動を積み重ねていくことです。

設問5 “3R”という言葉を知っていますか。



“3R”とは、
Reduce（リデュース）⇒発生・排出抑制：物を大切に使い、ごみを減らすこと。Reuse（リユース）⇒再使用：使える物は繰り返し使うこと。Recycle（リサイクル）⇒再生利用：ごみを資源として再び利用すること。の言葉の頭文字の3つのRのことです。

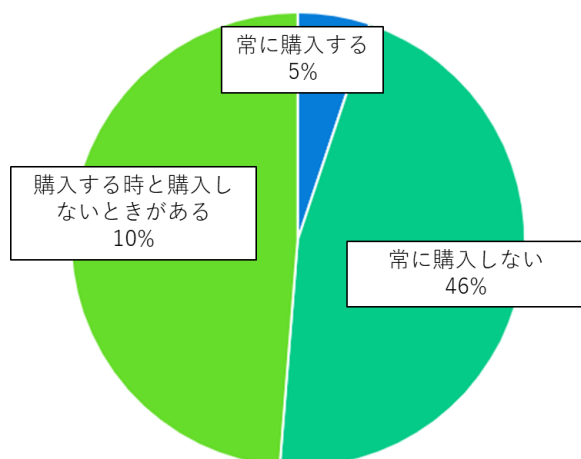
かわさき 3R 推進キャラクター。
生まれも育ちも川崎で、3Rの
大切さを伝える妖精です。
耳と体の3つのRで「3R」を
表しています。



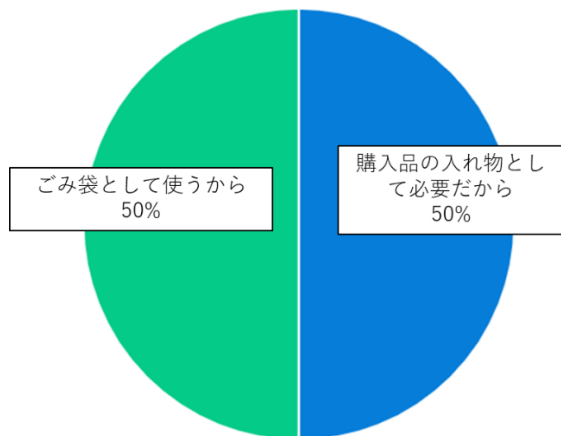
かわるん

《レジ袋の削減やマイバッグの使用等の取組について》

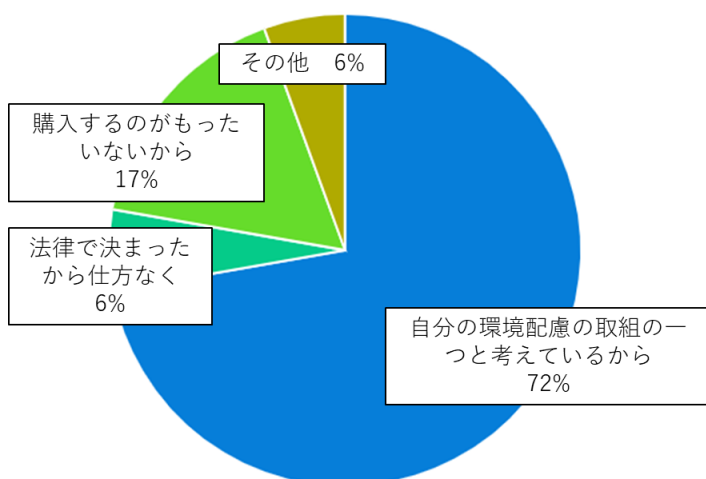
設問6 買い物の時に有料のレジ袋を購入していますか。



設問7 【設問6で常に購入すると回答の方】レジ袋を購入する理由は何ですか。



設問8 【設問6で常に購入しないと回答の方】レジ袋を購入しない理由は何ですか。



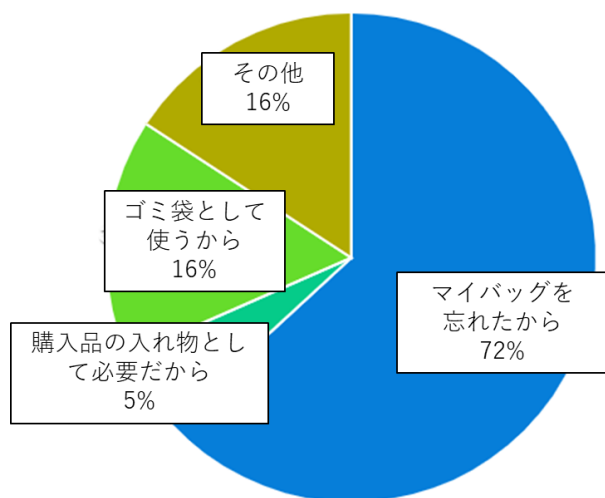
その他の内容

エコバッグを常に持っているから。ただし、環境保護に役立っているかは疑問であり、レジ袋有料化にも賛成ではない。

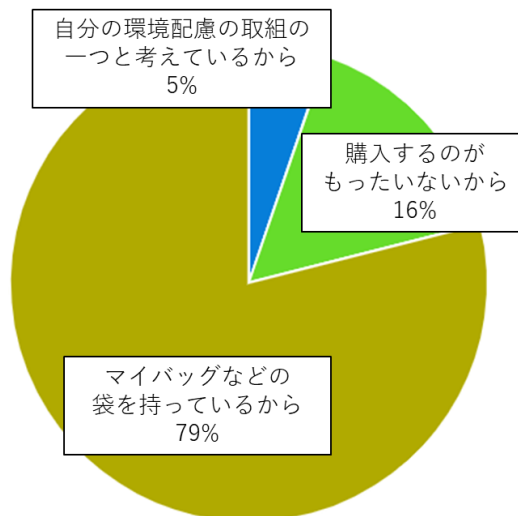
設問9、10【設問6で購入するときとしないときがあると回答の方】

レジ袋を購入するとき、購入しないときの理由は何ですか。

設問9 購入する時の理由



設問10 購入しないときの理由

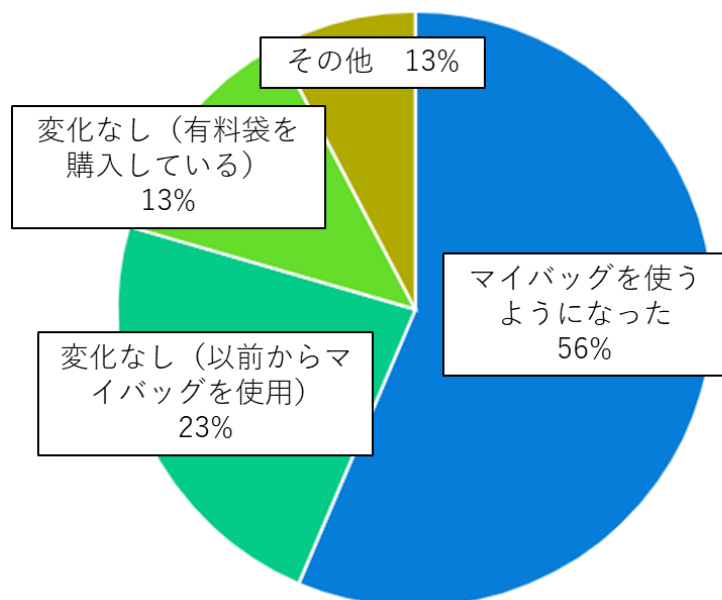


その他の内容

■購入するときの理由

- ・マイバックに入りきれない大きなモノの購入や雨などマイバックのみでは濡れてしまうとき。
- ・コンビニなどで、店員さんが、レジ打ちながら入れてくれるから。

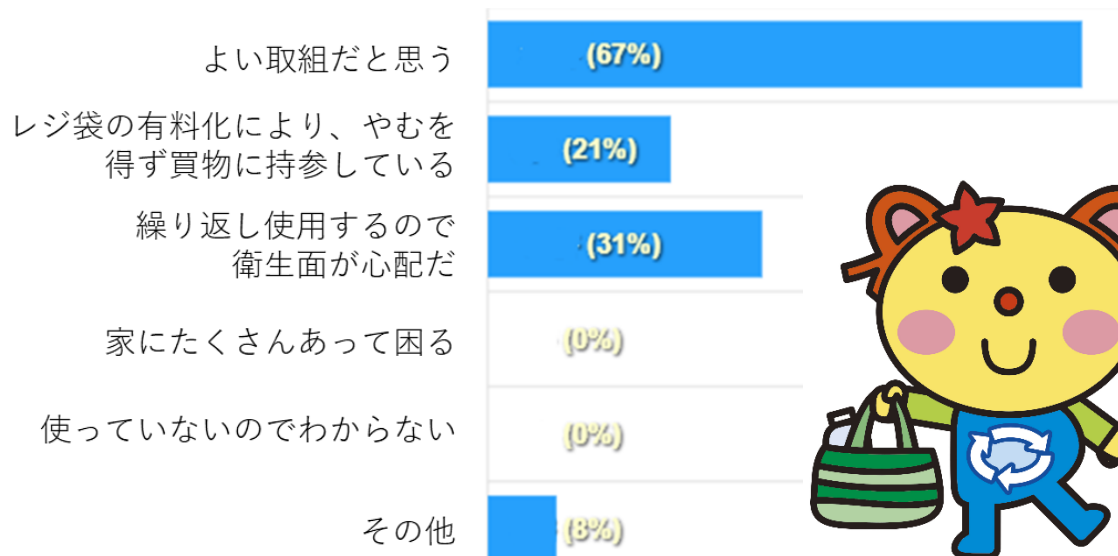
設問11 レジ袋の有料化（令和2年7月1日）をきっかけに、行動に変化はありましたか。



その他の内容

- ・店に置いてある段ボールを使用するようになった
- ・あらかじめ購入したレジ袋を持参している。
- ・レジ袋は持ち手が肩にかけられないため、以前からマイバックを持参。

設問１２ マイバッグの使用について、お考えをおきかせください。（複数回答可）

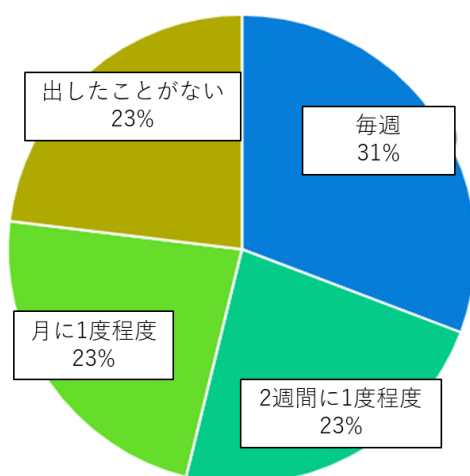


その他の内容

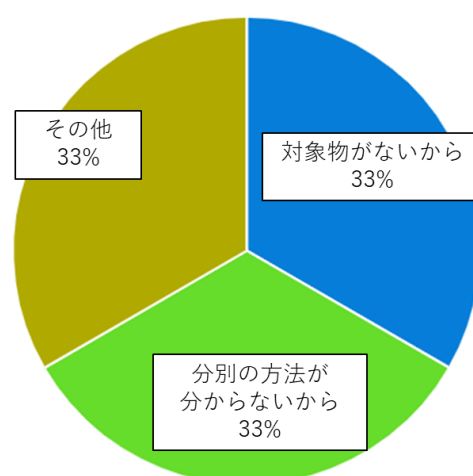
- ・持ち手が肩にかけられない、という構造的利便性の理由からマイバッグを使用している
- ・自宅にレジ袋が増えてしまうのも避けたい。
- ・マイバッグの使用は当たり前という感覚。
- ・店側が袋をサービスしなくなり、消費の風景が貧しくなったと感じている。
- ・マイバッグは不便で不経済と感じる。

《「ミックスペーパー」と「プラスチック製容器包装」の分別収集について》

設問１３ ミックスペーパーをどのくらいの頻度で出していますか。



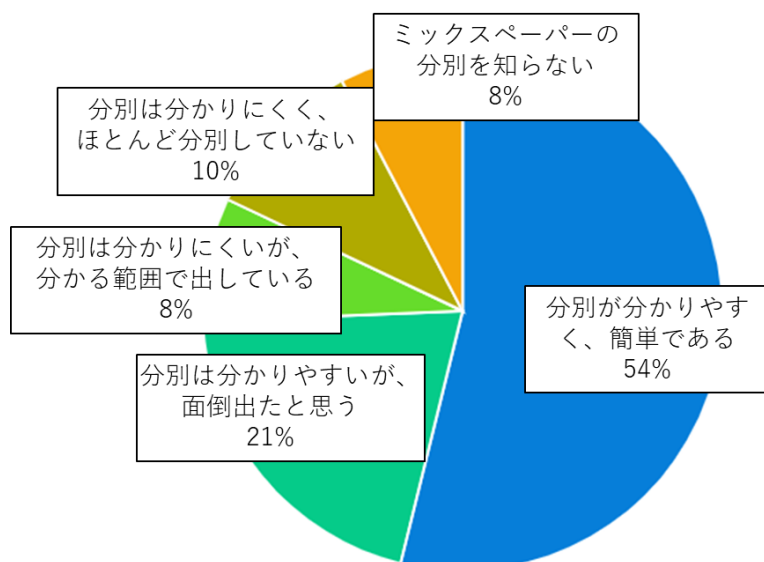
設問１４【設問１３で出したことがないと回答の方】出さない理由をお選びください。



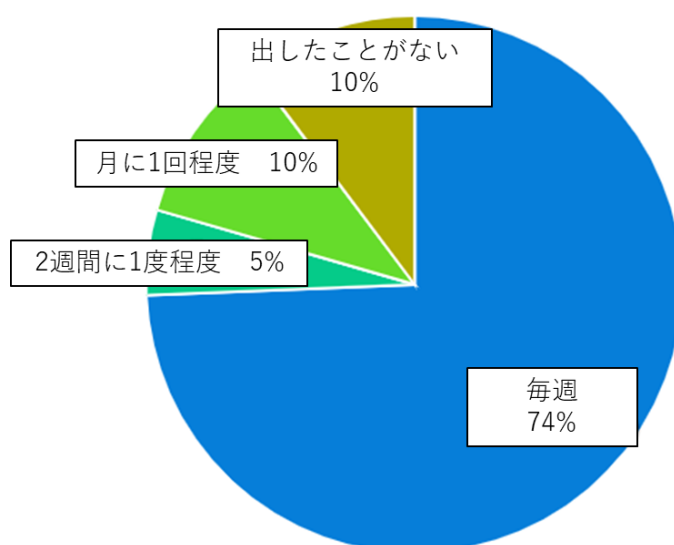
設問 14 その他の内容

- ・ゴミ出しの手間を省く為燃えるゴミとして出している。面倒。
- ・個人情報等の保護のため。

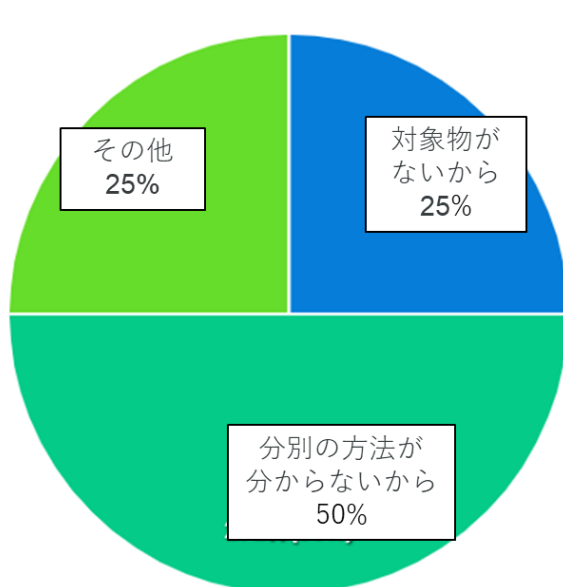
設問 15 ミックスペーパーを分別することをどう感じていますか。



設問 16 プラスチック製容器包装をどのくらいの頻度で出していますか。



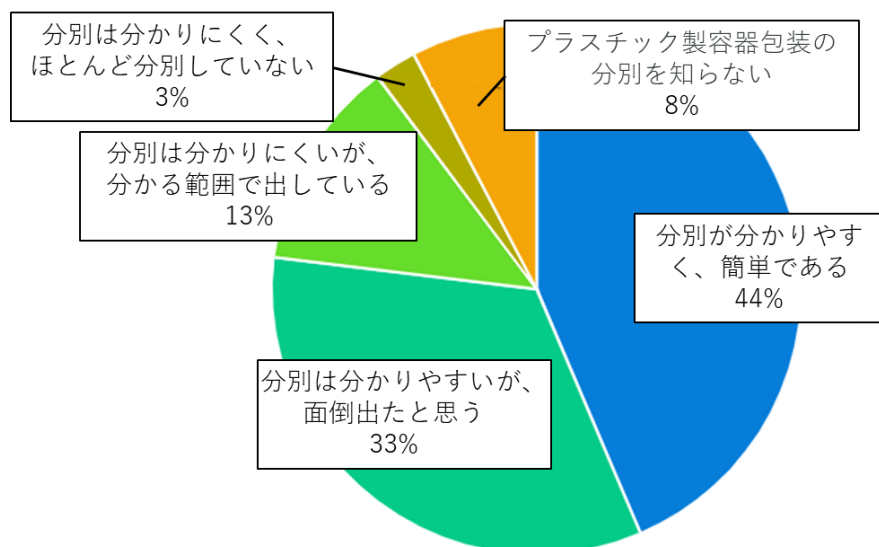
設問 17 【設問 16 で出したことがないと回答の方】出さない理由をお選びください。



その他の内容

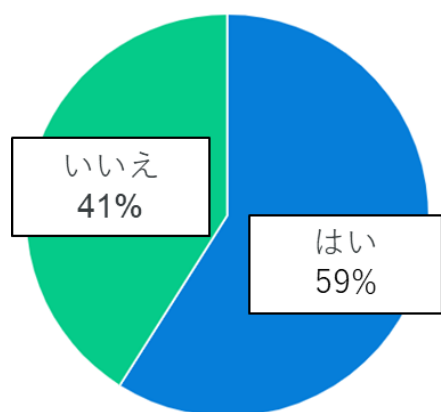
- ・面倒だから。

設問１８ プラスチック製容器包装を分別することをどう感じていますか。

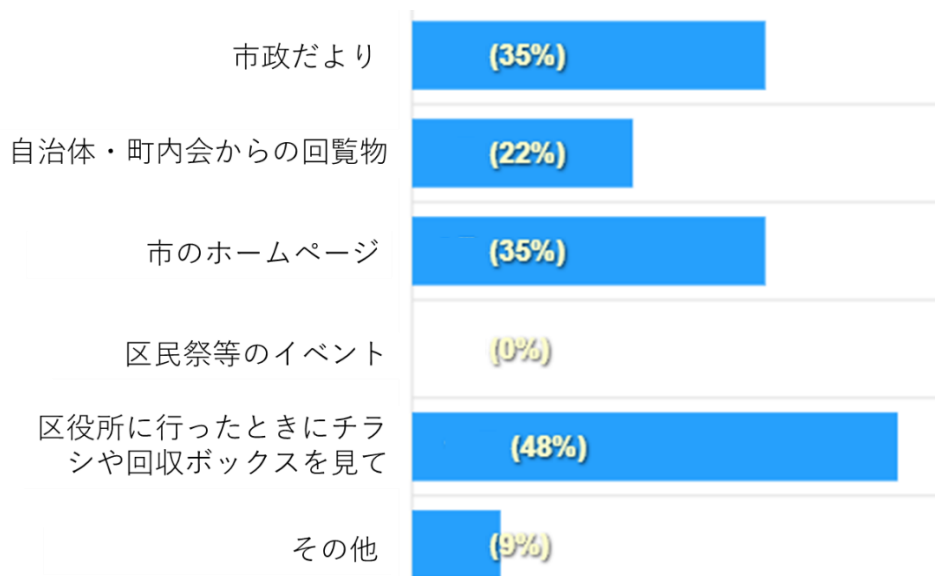


《拠点回収事業について》

設問１９ 川崎市では、拠点回収事業として、小型家電・布類・牛乳パック・蛍光管・インクカートリッジを区役所等市内公共施設に回収ボックスを設置し、回収していますが、御存知ですか。



設問２０【設問１９ではいと回答の方】拠点回収事業についてどこでお知りになりましたか？
(複数回答可)



その他の内容

- ・川崎市地域環境リーダー養成講座
- ・たまたま回収拠点を見たから。

設問２１【設問１９でいいえと回答の方】現在、拠点回収場所を次のとおり設置しています。

「区役所、支所、出張所、生活環境事業所、ヨネッティー王禅寺、かわさきエコ暮らし未来館・王禅寺エコ暮らし環境館、CC かわさき交流コーナー（高津市民館内）、川崎市複合福祉センターふくふく」
※品目によっては、設置していないものもあり。

今後新たに公共施設に設置する場合、どこに設置するとよいと思いますか。

★公共施設…駅、図書館、学校

★公共施設以外…商業施設、コンビニ、スーパーマーケット

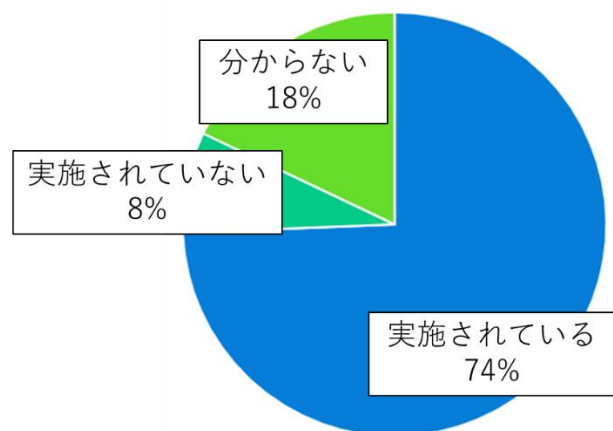
（日常的によく利用し、数が多い施設、人目につきやすい場所に設置されれば便利との意見が多くありました。）

《資源集団回収について》

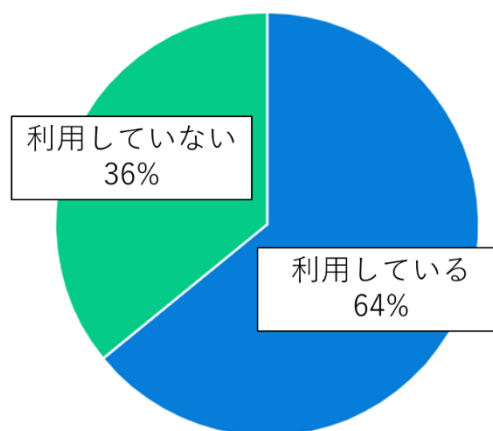
設問 2 2 お住まいの地域では『資源集団回収』が実施されていますか。

設問 2 3 地域で行われている『資源集団回収』を利用していますか。

設問 2 2

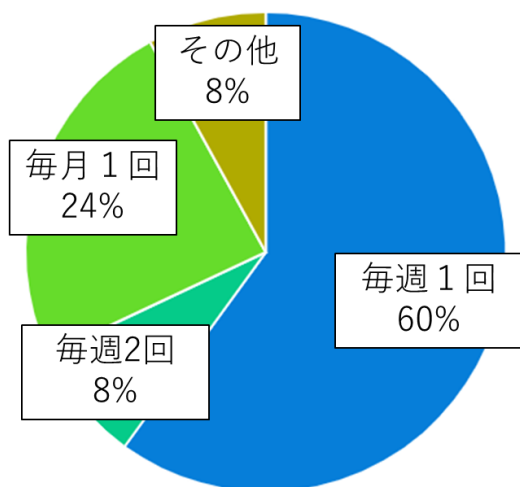


設問 2 3



『資源集団回収』とは、町内会や自治会、PTA等地域の市民で組織される団体が、回収日時・回収場所を決め、新聞・雑誌・段ボール等の資源化物を自主的に回収し、回収業者に引き渡す活動です。

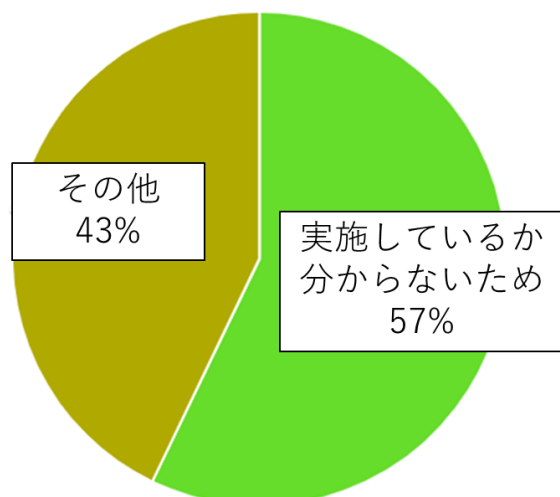
設問 2 4 【設問 2 3 で利用していると回答の方】 お住まいの地域の回収頻度を教えてください。



その他の内容

- ・月 1 回
- ・分らない

設問 2 5 【設問 2 3 で利用していないと回答の方】 利用していない理由を教えてください。



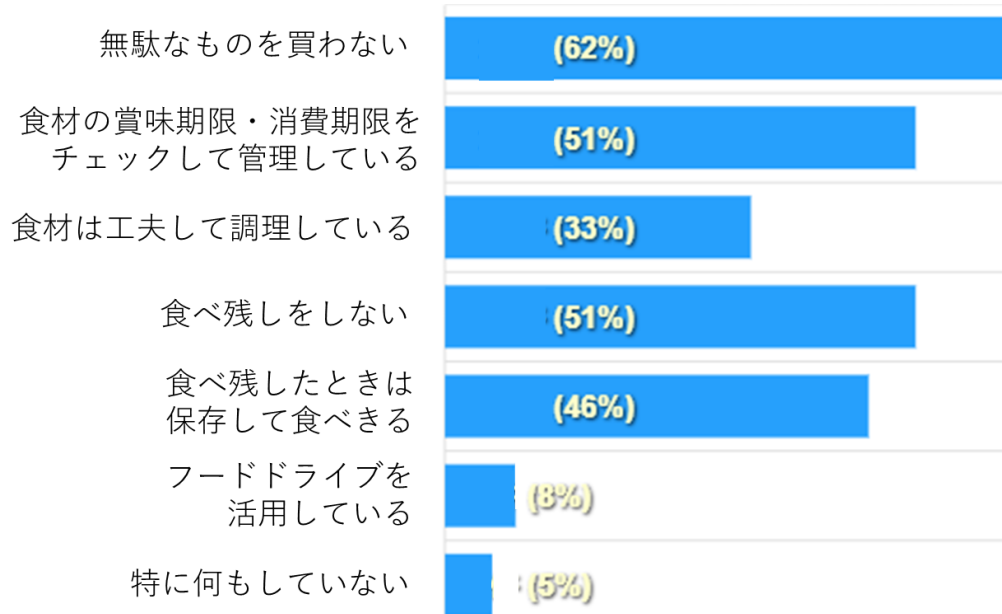
その他の内容

- ・マンション独自で回収業者に引き渡す機会があるため
- ・独自の回収業者。
- ・時間や期間が限定的なため
- ・ごみ回収に出している。

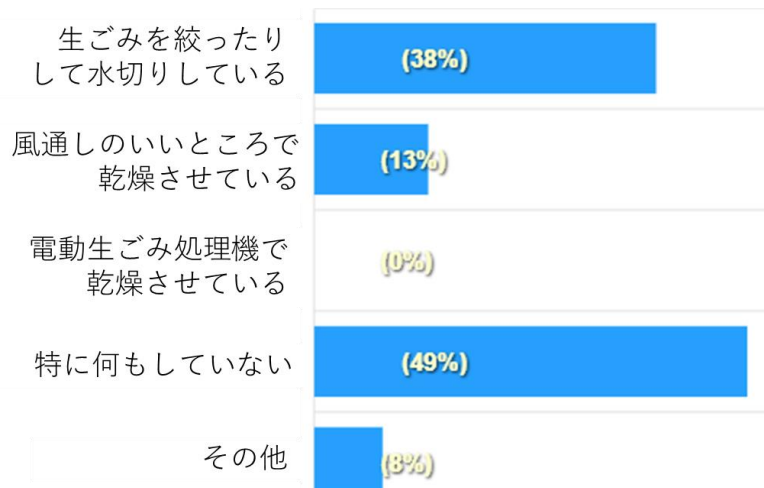


《生ごみについて》

設問２６ 食品ロス及び生ごみの発生量を少なくするために、何か取組をしていますか。（複数回答可）



設問２７ 生ごみの水分を減らすために、何か取組をしていますか。（複数回答可）

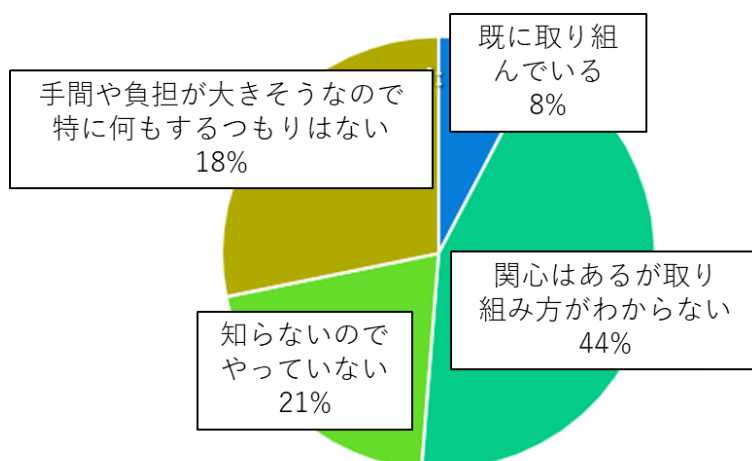


その他の内容

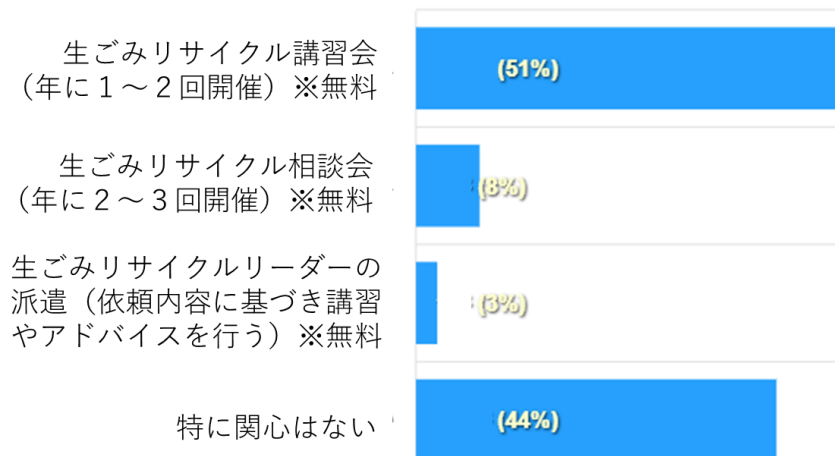
- ・デスポーザーやコンポストを利用

生ごみの８０～９０％は水分で、この水分を減らすことで臭いの問題などを軽減でき、運搬に伴う燃料の消費量を減らすことができると言われています。

設問２８ 生ごみをゴミとして出さない取組として、生ごみ処理機やコンポストによる堆肥化のリサイクルをしていますか。

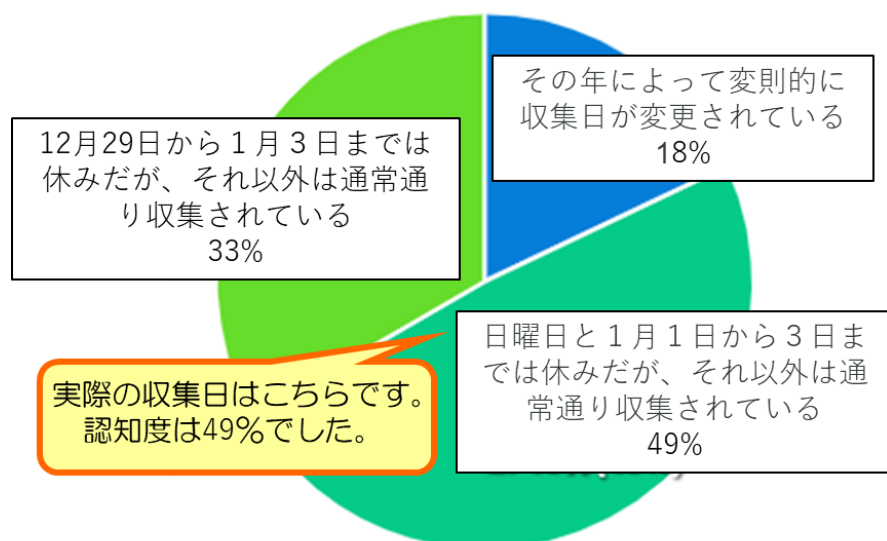


設問 29 生ごみリサイクルの手法についての紹介やアドバイス等を行う取組で、受けてみたいと思うものを教えてください。（複数回答可）



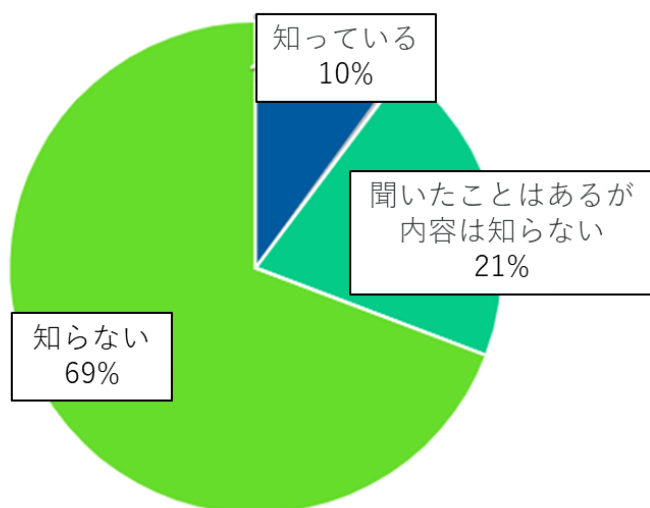
《年末年始の資源物とごみの収集日の認知度について》

設問 30 現在の年末年始の資源物とごみの収集日はどれだと思いますか。



《一時多量ごみ制度について》

設問 31 一時多量ごみ制度（有料）を御存知でしたか？



令和2年7月より、一般家庭での引越しや遺品整理などで出た多量のごみについて、市の許可を得た事業者を利用して市民が有料で回収を依頼できる「一時多量ごみ制度」を開始しています。

《消費生活とごみの減量・リサイクル全般について》

設問３２ 資源を大切に、環境に極力負担をかけない生活スタイルにしていくことについての御意見や決意など、御自由に御記入ください。

《自由回答》

■過剰包装の削減と持続可能な消費

過剰包装の見直し：過剰包装を断ることや、贈答品の過剰包装が時代遅れであることをPRすることが重要です。

レストランのメニュー改善：レストランでは一人分の量を少量と通常の２種類にする提案があります。

ドギーバッグの利用促進：ドギーバッグを持参できるようにし、おしゃれなドギーバッグを販売することが推奨されています。

マイボトルの持参：ドリンクはマイボトルを持ち歩くことが提案されています。

■ゴミ削減とリサイクルの重要性

ゴミの発生と処理：ゴミは生きている以上必ず発生しますが、衛生面を考慮し、ゴミの発生から回収、焼却、廃棄までの全行程を適切に扱うことが重要です。

ゴミ削減の認識：地球温暖化に伴う環境問題について、１人でも多くの人に認識してもらうことが必要です。

ゴミの分別：ゴミの分別を明確にし、市民に分かりやすくアナウンスすることが求められています。

■教育と啓発活動

資源の大切さを学ぶ：子供の頃に学んだ知識が今後の社会に役立つため、教育の場で資源の大切さを考えるプログラムを導入することが提案されています。

啓発活動の強化：町内会など小さな単位でも啓発活動を行うことが重要です。

■政策と市民の意識

レジ袋有料化の効果：レジ袋の有料化による効果を知りたいという意見があり、どのような効果があったのかを検証する必要があります。

政府の政策評価：市民を信じ、政府が政策評価を実施し公表することが求められています。

■個人の取り組みと社会的課題

ゴミ問題の意識：ゴミ問題は家庭だけでなく世界的な課題であり、個々の取り組みが重要です。焼却場の見学会や説明会に参加することで、ゴミの扱いや取り組みを知ることができます。

プラスチックごみの分別：プラスチックごみの正確な分別が求められ、リサイクル可能なものや長く使えるものを購入する意識を持つことが重要です。

■コンポストと循環型社会

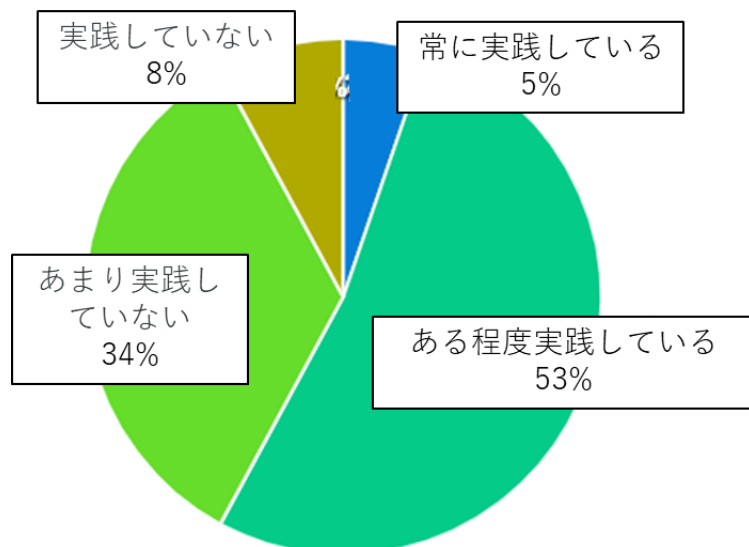
コンポストの普及：コンポストの購入場所や価格、できた肥料の回収場所を増やすことが必要です。購入費用の補助や回収の仕組みを整えることが提案されています。

生ごみリサイクル講習会：生ごみリサイクル講習会が無料で年に１から２回行われていることを知り、参加することが推奨されています。特に若い世代と一緒に取り組むことが未来に有益です。

2. 地球温暖化対策について

《日常生活における意識について》

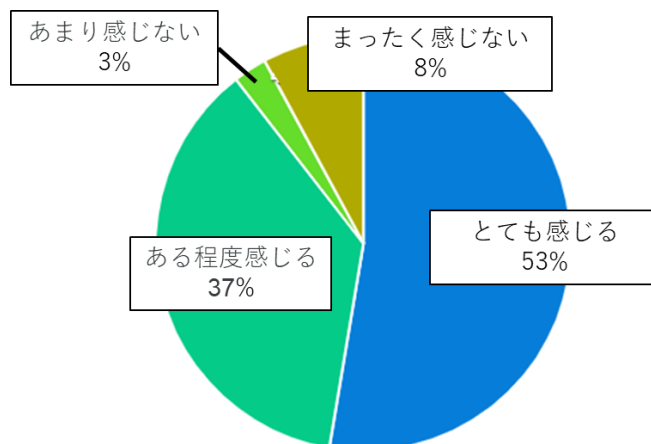
設問1 日常生活において環境配慮型の生活を実践していますか。



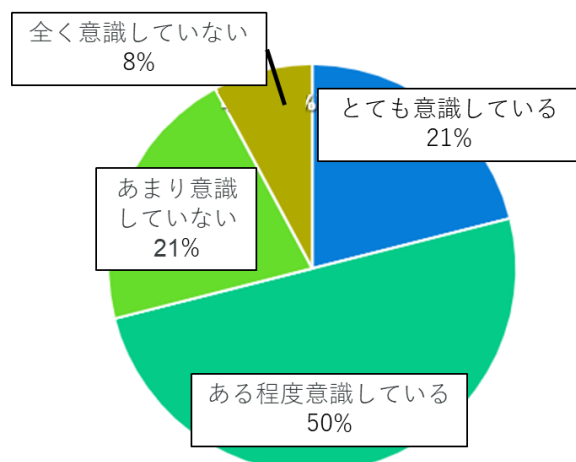
設問2 【設問1で実践していないと回答の方】実践していない理由は何ですか。

- お金がかかる
- することの意味を感じないから。

設問3 昨今の地球温暖化の進行について危機感を感じていますか。

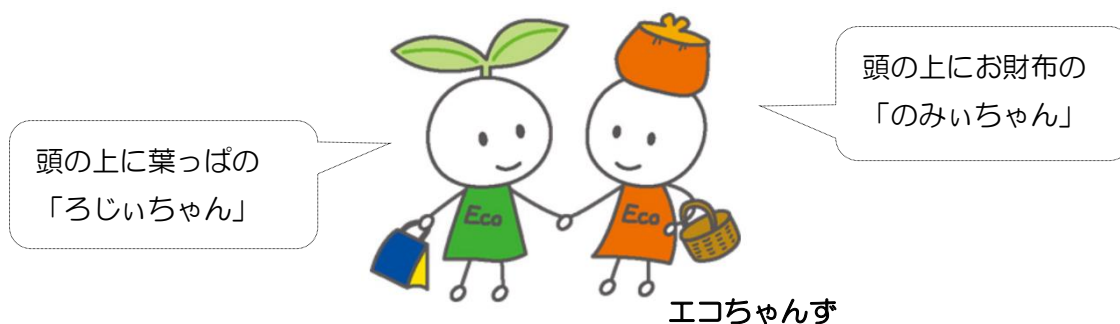
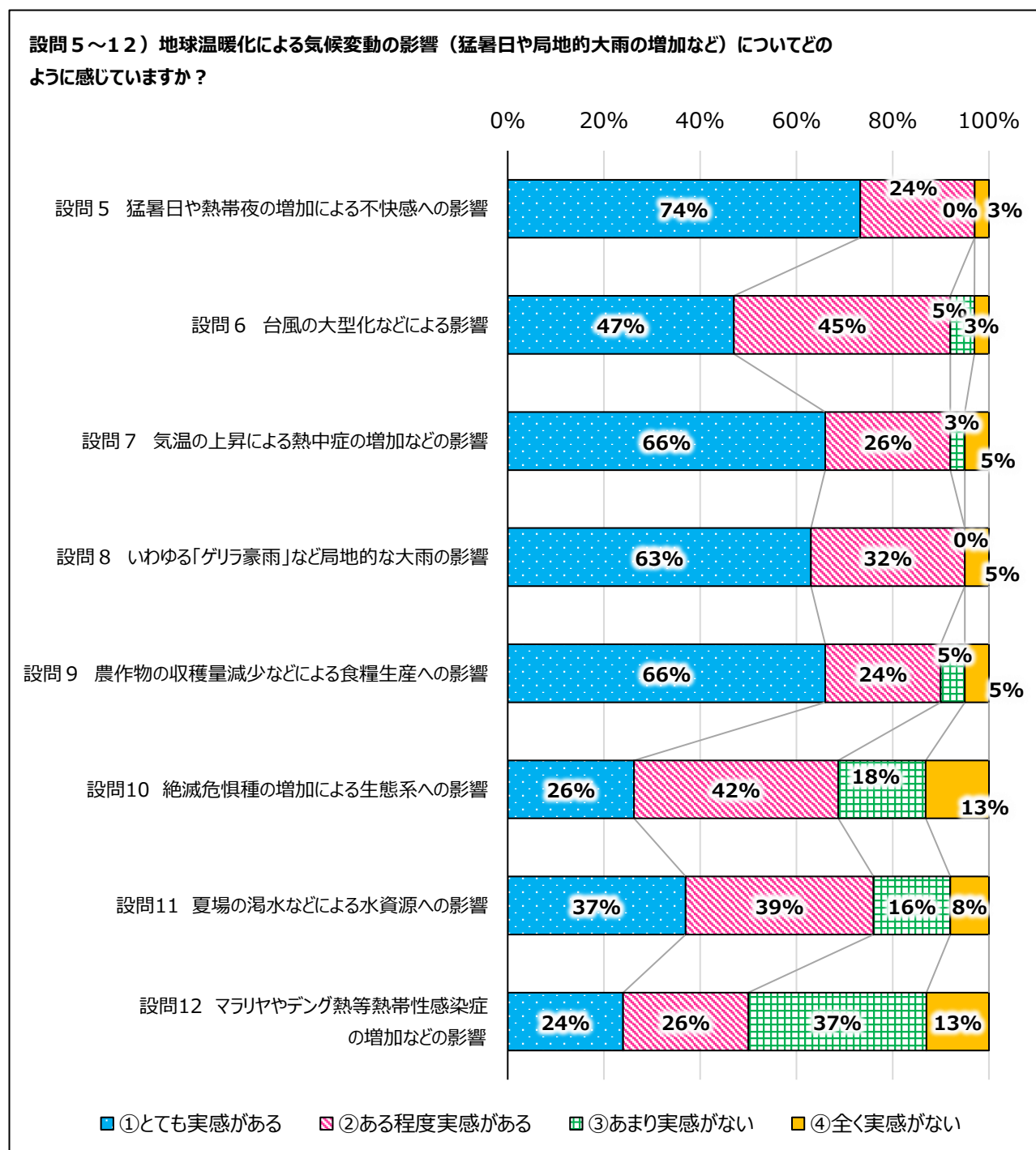


設問4 日常生活の中で地球温暖化対策について意識していますか。



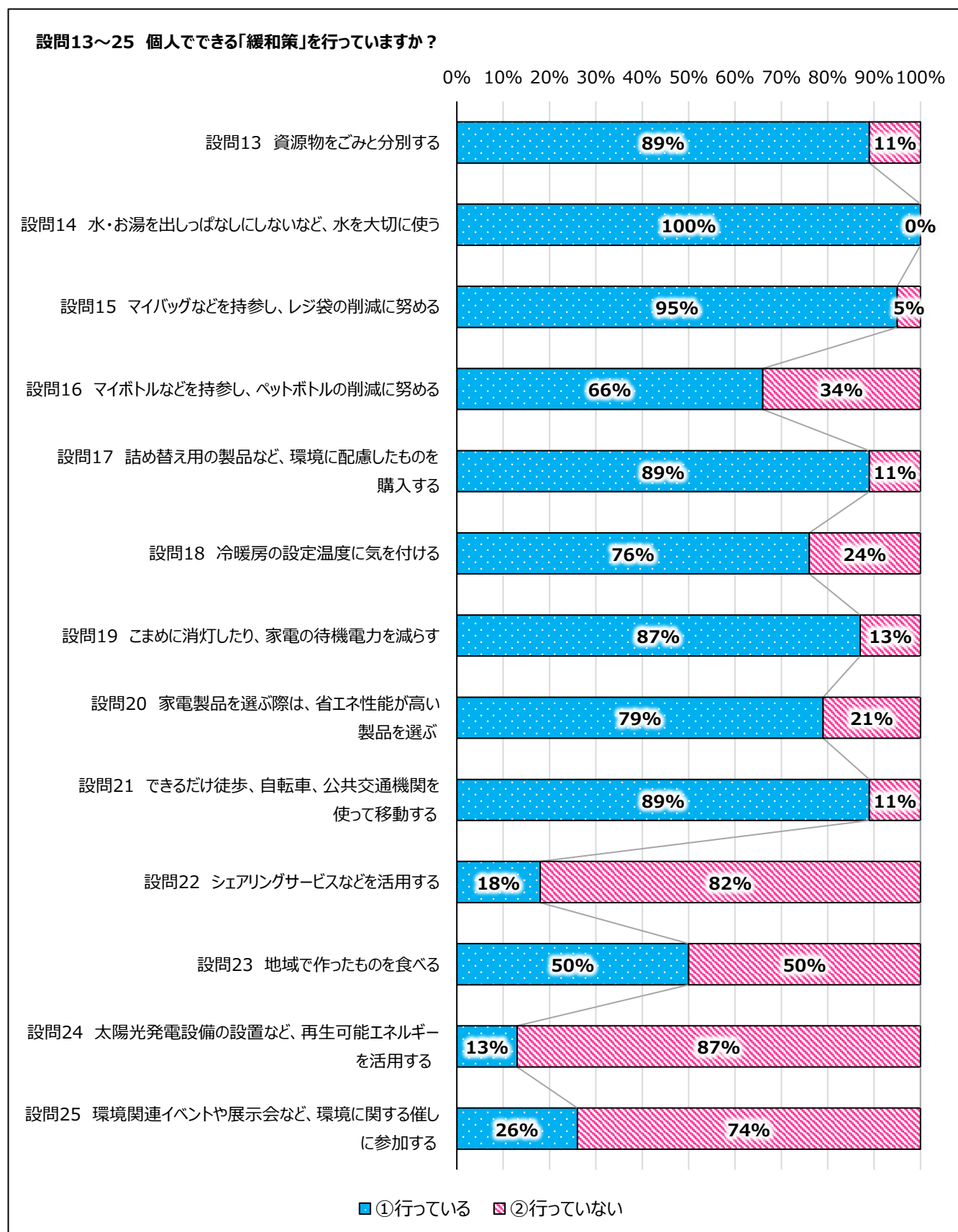
<<地球温暖化による気候変動の影響（猛暑日や局地的大雨の増加など）について>>

設問5～12 次のことについてどのように感じていますか？



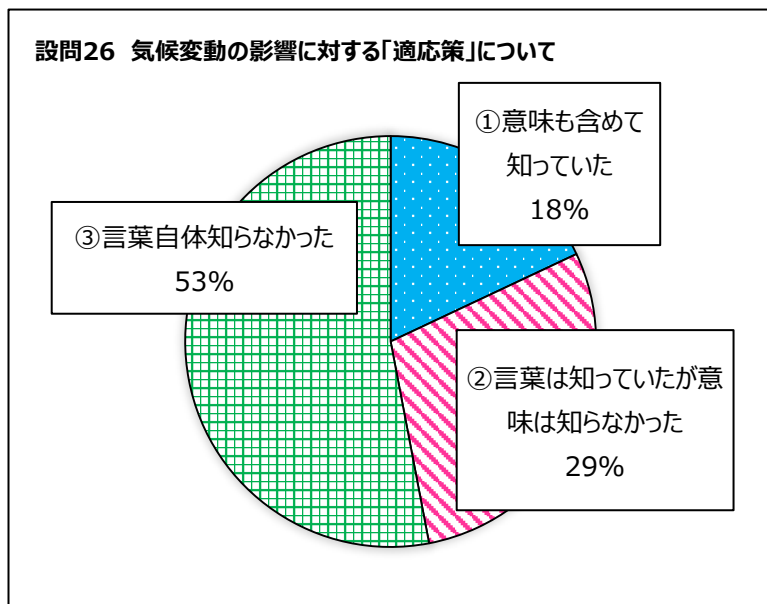
《個人でできる「緩和策」について》

設問 13～25 次の「緩和策」を行っていますか？



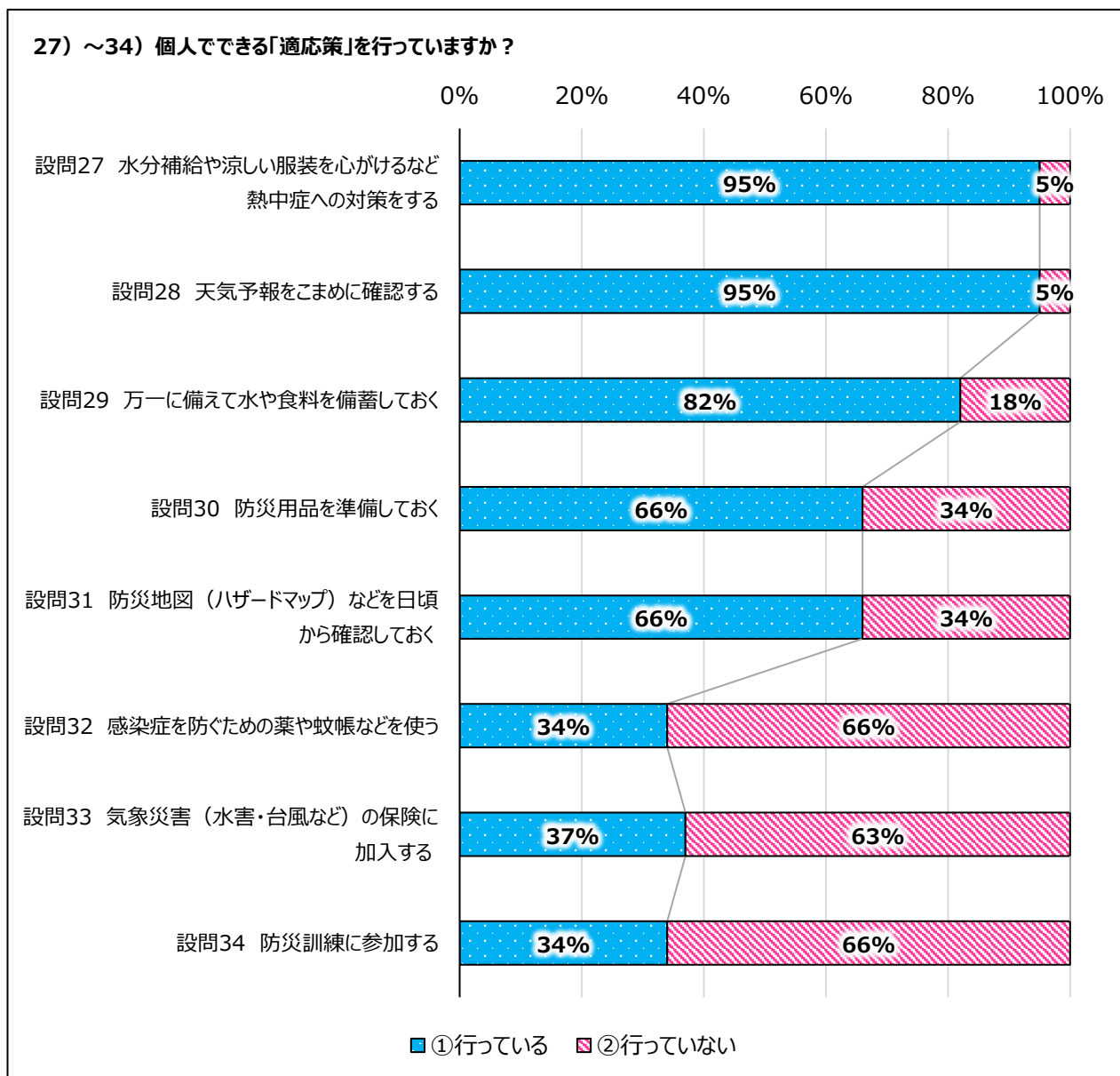
<<「適応策」について>>

設問 26 気候変動の影響に対する「適応策」について知っていましたか。



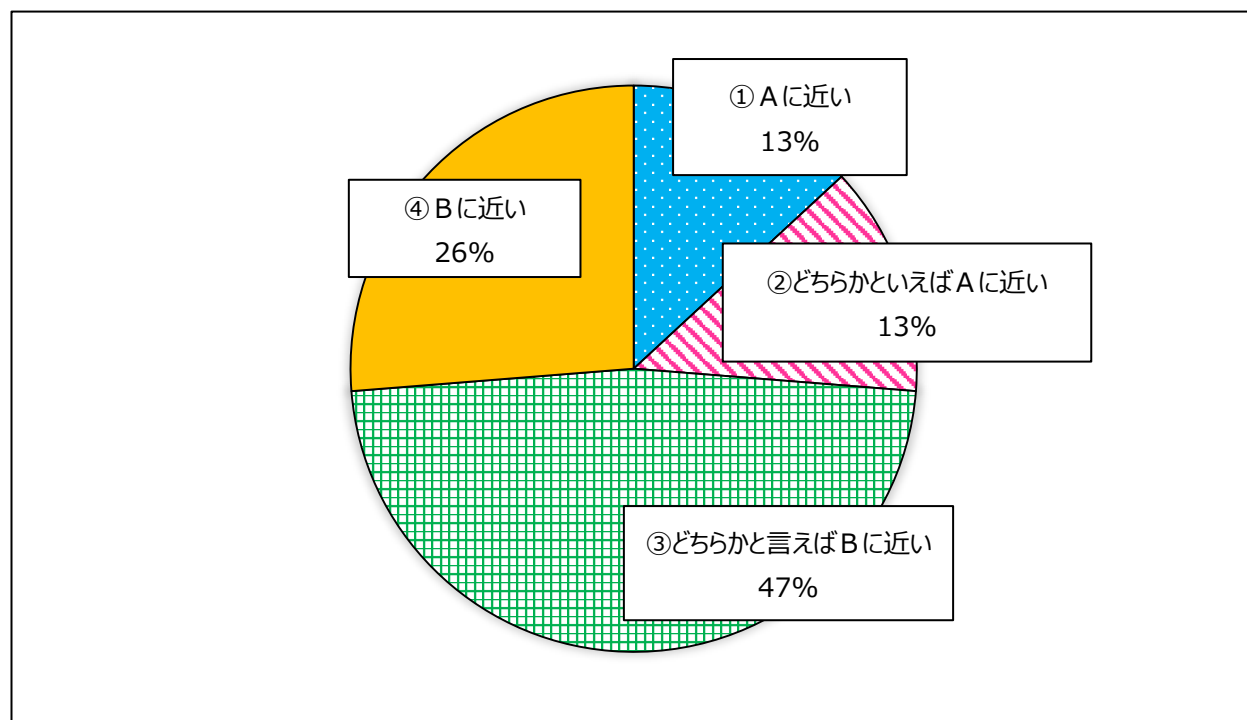
「適応策」とは、「緩和策」に対して、既に生じている気候変動の影響や将来予測される気候変動の影響を軽減するための対策（災害時の備え、治水対策、熱中症対策など）のことをいいます。

設問 27～34 次のような個人でできる「適応策」を行っていますか？

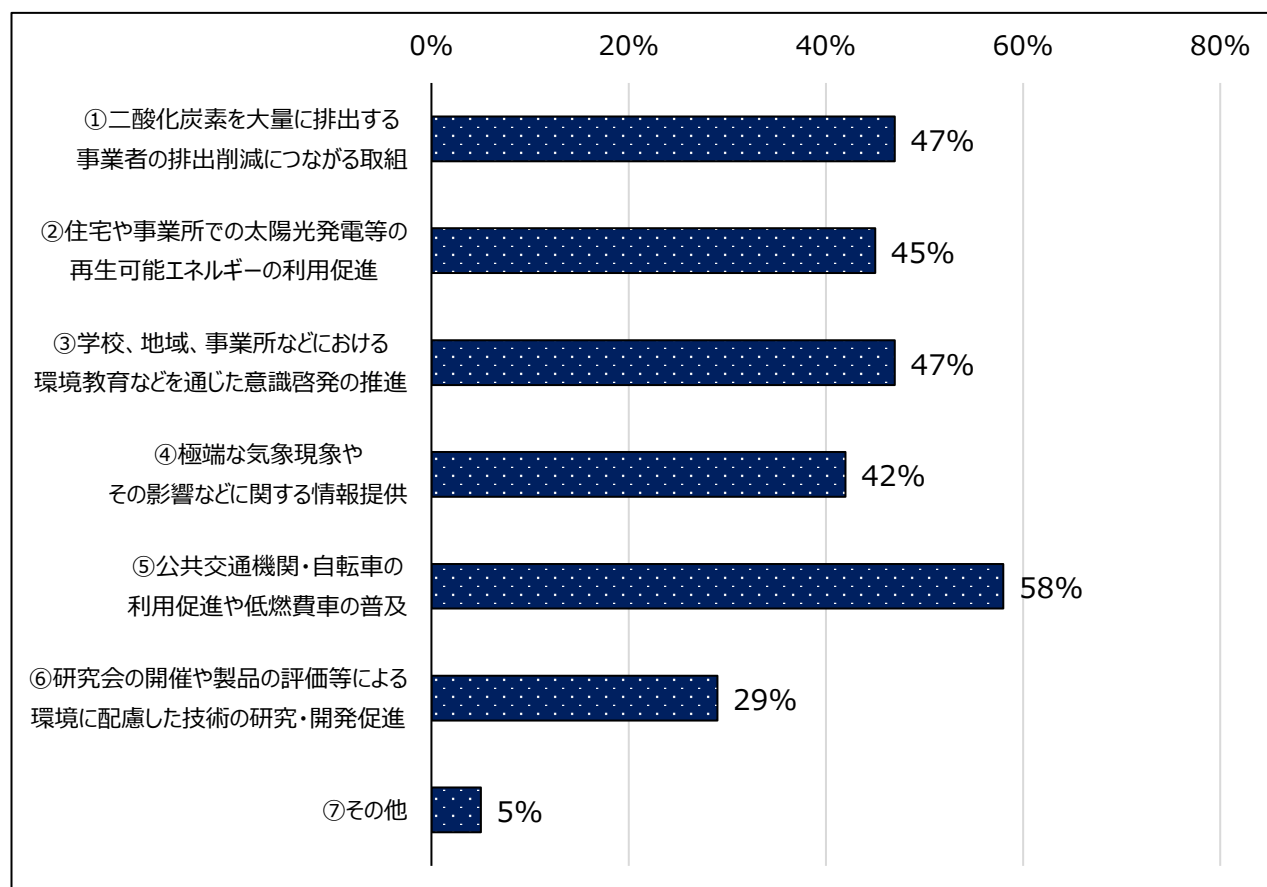


《川崎市の地球温暖化対策について》

設問 35 川崎市が取り組む地球温暖化対策について、次のAとBの考え方ではどちらの方があなたのお考えに近いですか。最も当てはまるものを1つだけ選んでください。



設問 36 今後、川崎市に取り組んでほしい地球温暖化対策は何ですか？（複数回答可）

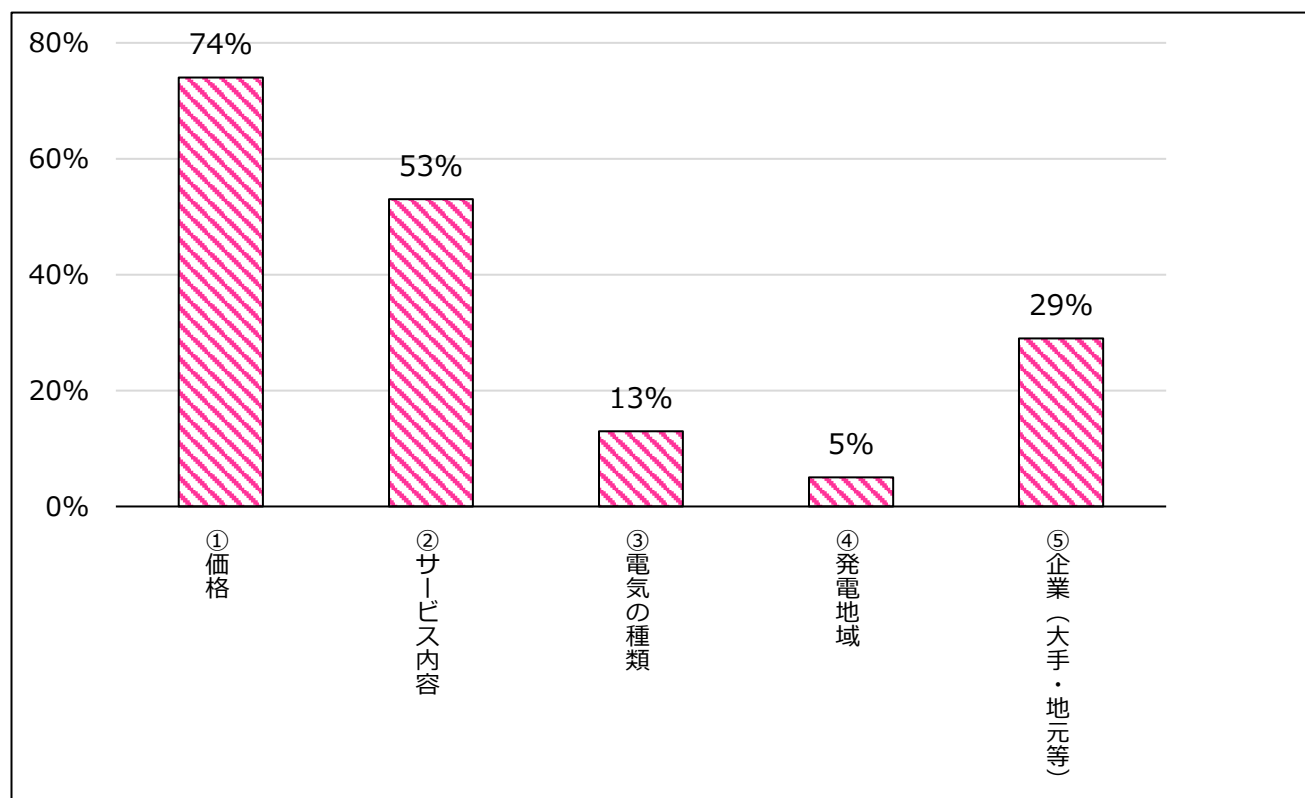


その他の内容

- ・地球温暖化は人類の活動が理由とは思わない。現にトランプ政権はパリ協定から離脱の意思を示している。このような施策に税金を使わないでほしい。それよりもむしろ、ゲリラ豪雨、熱中症などが街中で起こった時の対策に税金を使ってほしい。

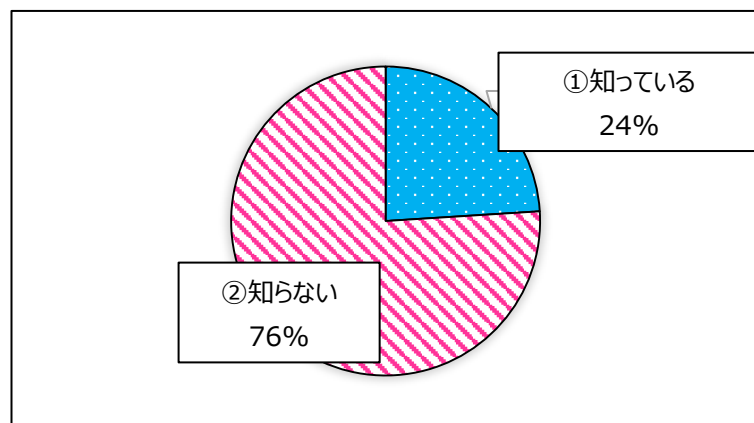
《電力会社の選定理由について》

設問 37 平成 28 年 4 月から、一般家庭等すべての需要家が電力会社を選べるようになりましたが、電力会社を選ぶ際に何を重視しますか。（複数回答可）



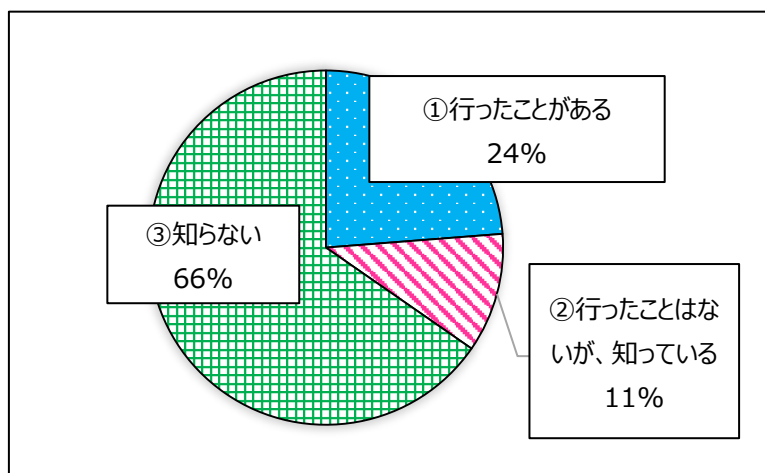
《川崎市の取組や施設について》

設問 38 脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみそのくち」を知っていますか？



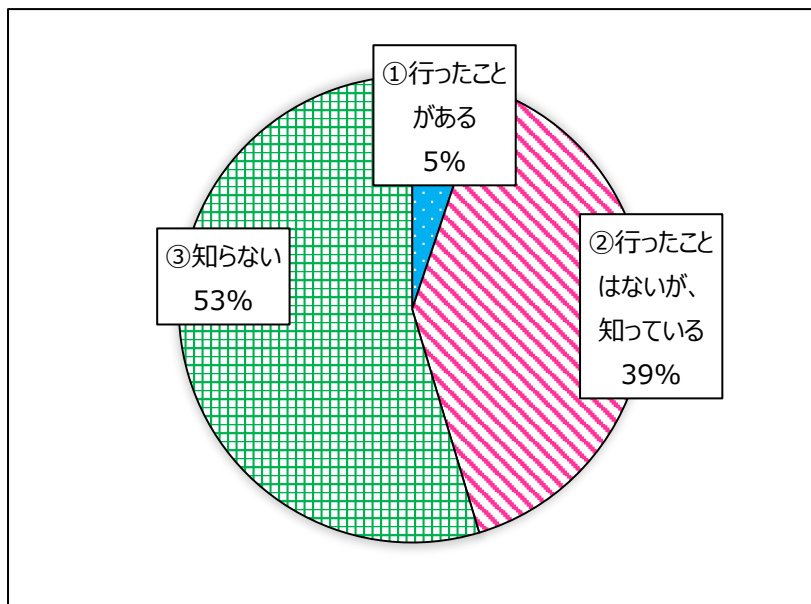
川崎市では、高津区溝口周辺地域を脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみそのくち」に設定し、脱炭素化に資する身近な取組や先進的な取組を集中的に実施することで、市民一人ひとりの環境配慮型のライフスタイルの行動変容を促し、脱炭素社会の実現を目指しています。

設問 39 川崎市地球温暖化防止活動推進センターを知っていますか？

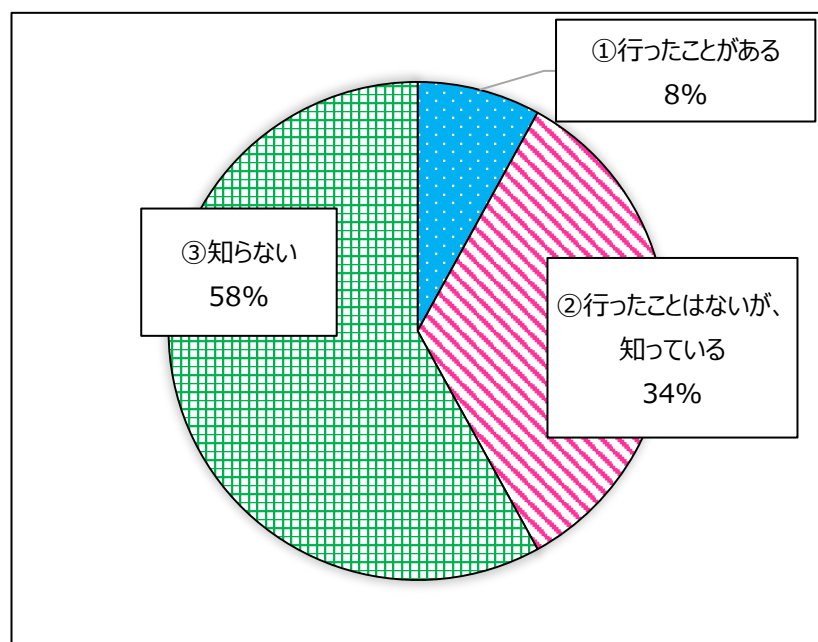


川崎市では、川崎市地球温暖化防止活動推進センターを指定し、地球温暖化防止対策の普及啓発を推進しています。当センターでは、高津市民会館内に設けた情報発信拠点「CCかわさき交流コーナー」を運営し、地球温暖化防止対策に関する取組の相談・パネル展示・講座の開催等を行っています。

設問 40 川崎市内には、浮島町と扇島に合計出力約 2 万 kw の大規模太陽光発電所（メガソーラー）があります。大規模太陽光発電所（メガソーラー）を知っていますか。



設問 41 かわさきエコ暮らし未来館を知っていますか？



浮島町にはメガソーラーを始めとした再生可能エネルギーや、地球温暖化、資源循環について体験型の展示で学べる環境学習施設「かわさきエコ暮らし未来館」があります。

《地球温暖化対策全般について》

設問 42 地球温暖化対策について、御自由に御記入ください。

《自由回答》

■環境への取り組みと啓発活動

- ・商業施設の短縮営業: 24 時間営業の店や夜遅くまで営業している商業施設に短縮を依頼することが必要だと感じる。
- ・企業の啓発活動: 環境に取り組む企業やメーカーが市民に啓発を行うことで、消費者の理解を得ることが重要だと考える。
- ・地球温暖化防止活動の周知: 川崎市地球温暖化防止活動推進センターなどでの普及啓発が不十分であるため、広報活動を強化する必要があると感じる。

■地球温暖化と個人の意識

- ・温暖化の影響の認識: 地球温暖化の影響を広く認識してもらうことが重要であり、個人の取り組みがその原点であると考えます。
- ・家庭での取り組み: 家庭でできることは限られているが、冷房の設定温度を変えるなどの小さな努力が求められると感じる。

■企業と社会全体の役割

- ・企業の責任: 企業が変わらなければならないという意見があり、国や自治体が企業に対して強くアクションを求めることが重要だと考える。
- ・社会全体の意識変革: 企業の取り組みが実行力を持つため、国や自治体が強く要請することで社会全体の意識が変わるを感じる。

■自然環境の保護と地域の取り組み

- ・緑の増加と地域の休息場所: 緑を増やし、地域に根付いた休息場所を提供することが必要だと考える。市役所などでの休みどころの提供が望ましいと感じる。
- ・地域農産物の購入促進: 地元の農産物を大手スーパーで常に仕入れるよう協力し、スローフードの取り組みを推進する必要があると感じる。

■災害対策と危機管理

- ・危機管理の意識: 一人ひとりが危機管理を持つことが重要であり、避難用のリュックを自治体で配布することが必要だと考える。
- ・自然災害への備え: 最近の極端な気象状況を受けて、身近なところからできる対策を講じる必要があると感じる。

■知識の向上と具体的な対策

- ・温暖化の具体的な問題理解: 温暖化についての具体的な問題を理解するための勉強が必要だと考える。環境関係のイベントに参加することが有益だと感じる。
- ・個人の取り組みの重要性: 個人の取り組みは微々たるものかもしれないが、できる限りのことを行う意識が重要だと考える。

■生活スタイルの見直し

- ・アナログな生活の提案: 便利さを追求することが環境破壊につながるため、少しアナログな生活に戻ることが必要だと感じる。

